

【研究課題名】喘息発作の全国サーベイランスを介した呼吸器感染症の早期検出と流行把握の研究

【研究の対象】平成22年4月1日から令和6年3月31日までに、喘息増悪により入院した20歳未満の患者さん。

【研究の目的】

背景:気管支喘息を持っている患者さんは呼吸器感染症にかかると発作が起きやすくなります。しかしこれまで、国内外で喘息発作を誘発させる病原体が何か、そしてどのような病原体が流行しているのかは調査されていませんでした。そこで、喘息発作で入院する患者さんを全国でモニタリングして、重症例においては健康保険診療で病原体が見つからなかった場合に多項目の病原体PCR検査を実施する研究を計画しました。国が行っている感染症サーベイランスと連動させることで、呼吸器感染症の流行を迅速、正確に把握し、情報を国内に発信し、治療や予防など対策をとることを目的としています。このシステムは新型コロナウイルス感染症など、今後生じる未知なる呼吸器感染症のパンデミックの情報収集にもつながることが期待されます。

【研究の方法】

研究のために特別に検査する項目はなく、治療内容を変更していただくことはありません。

1. 毎月、喘息発作による入院数、人工呼吸管理を行った数、集中治療室で治療した数を、男女別、年齢別に収集し、集計します。
2. 通常の保険診療で行うインフルエンザ等の病原体検査は行いますが、当院ではこの研究で行われる多項目PCR法による病原体検査は行わないため、そのための検体採取は行いません。

研究期間：倫理委員会承認日～令和6年（2024年）3月31日

【外部への情報の提供】

埼玉医科大学総合医療センター小児科を主施設とし、松本市立病院は研究協力施設機関として参加します。

【お問い合わせについて】本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒390-1401 松本市波田 4417-180

電 話：0263-92-3027

担当者：松本市立病院小児科 中田節子